

When a lovely flame dies,
Smoke gets in your eyes.

恋の炎が消えるとき、煙が君の目にしみるんだ

「あのもやもやは何の煙？」

「あれは火事？ それとも虹？」

「あれは砂煙？」
「土煙？」
「水煙？」

「あっちの煙は火山の噴煙？」

「わたしは火山になりたい」

「この胸の炎を吐き出したい」

唾棄唾棄唾棄唾棄唾棄唾棄唾棄唾棄唾棄唾棄

「あれは火葬場の煙突の煙？」

「焼かれているのは死んだ母さん？ それともあたし？」

「煙は透明な青空へと、ゆらゆらとのぼってゆくわ」

煙のなかで野良犬が吠える

わうわうわうわうわうわうわうわうわうわう

煙のなかでオセローが叫ぶ

「いつかアレッポで外道の犬の喉もとをひつつかんで刺し殺してやった」

(いつかアレツポで……いつかアレツポで……)

氷の目をした秘密警察のウラジミール

君はナボコフの小説を読んだことがあるかい？

題名は「いつかアレップで……」

煙のように消えた女の話さ

「煙のなかで爆音と銃声が響いています」

日々の暮らしは修羅と消え

倒れたあなたの頭蓋から

花が咲くように血が流れます

廃墟の街に咲いた紅い花

あなたはうつろな目をひらいたまま

うつろう空を眺めています」

和解と寛容だって？

そんな心にもない嘘っぱちが地獄の業火を鎮めるなんて

君は本当に信じたのかい？

オマワリがヒマワリみたいにずらりと並んで

僕らをぶん殴って土人と呼ぶんだ

頭上に墜落するヘアスプレー

フェアプレーのリプレーで放置プレーのオスプレー

大臣閣下、ケツの穴みたいな顔色ですよ

え？ ウィンウィン？ **ケツ喰らえ！**

煙になった僕らには、もう帰るおうちもないんだ

「あれは何の煙？」

「工場の煙突の煙さ。**ベンゼン、シアン、砒素、鉛……**」

「**水銀、六価クロム、カドミウム、放射能。** あたし脳味噌まで汚染されたみたいでもロマンチックな恋がしたいの」

あゝ、煙が目にしみる……

どいつもこいつもからっぽのストロー人間

善人面のおためごかしの神だのみ

陰じゃあモンクを垂れ流し

表じゃお上のご機嫌取り

質草はマボロシ

人質は見殺し

みんな自己責任の自己啓発だってさ

あんたの不幸はあんたのせいだと、傲慢で無神経な奴らがいう

あんたの命は限りなく搾取される

あんたの気高い心は汚辱にまみれて擦り減ってゆく

ファシストのお偉方はフェラーリでお出かけ

どっかのセレブがフェラガモでおめかけ

僕らのごはんは卵かけ

屁理屈のケムに巻かれて命がけ

「喫煙者の方はガス室へどうぞ」

「監視カメラ万歳」

「進め一億総活躍」

「林檎も五輪も総揚げだ」

「重要な更新があります。いますぐ再起動してください」

高速で増殖する原子炉の菩薩たち

高速で増殖する死の商人たち

高速で増殖する金の亡者たち

インチキなインテリのテリヤキのポン引きが

メディアのメデイウムとメデイシンの目玉焼きを食らう

あゝ麗しきかな、わが祖国

なんてビューティフルなナイトメア

カタストロフはカタルシスのナルシス

滅びよ、神の生誕の日

夜空にきらめく星に願いを

ニガヨモギの星が落ちれば

水はみんな苦くなる

黙示録のニガヨモギはウクライナ語でチェルノブイリ

そしたら緑色のアプサンを飲もう

そいつはニガヨモギの酒だから

ブルーなモンクでも聴きながら

おれはゆっくりタバコが吸いたい

そいつがおいらの**狼煙**（のろし）なのさ

「ゆらゆらとくすぶっている煙のなかで

あなたはうつろな目をひらいたまま

うつろう空をいつまでも眺めています

うつろう雲のかがやきが

あまりにも美しいから」

あゝ、煙が目にしみる……

泣いてなんかいないさ

ただ煙のせいで涙が出るんだ

When a lovely flame dies,

Smoke gets in your eyes.

恋の炎が消えるとき、煙が君の目にしみるんだ